

LORC 第1研究班 2007年度第3回研究会  
(龍谷大学大学院NPO・地方行政研究コース大学院GPと共催)

日 時： 2008年1月13日(日)

会 場： キャンパスプラザ京都6F 龍谷大学サテライト教室

テーマ：「日本における持続可能な発展へのチャレンジに向けた非営利セクターと自治体、  
大学の新たなネットワークの構築」

講演者：Bob Evans (英国ノーザンブリア大学持続可能な都市研究所教授)

枚本育生 (特定非営利活動法人環境市民代表理事)

岸上みち枝 (ICLEI 日本事務局長)

宇高史昭 (ICLEI 日本事務局次長)

出席者：新川達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)

斎藤文彦 (龍谷大学国際文化学部教授)

白石克孝 (龍谷大学法学部教授)

土山希美枝 (龍谷大学法学部准教授)

的場信敬 (龍谷大学 LORC PD)

西原京春 (龍谷大学 LORC RA)

清水万由子 (龍谷大学 LORC RA)

定松功 (龍谷大学 GP RA) (敬称略、順不同)

持続可能な発展にとって自治体の果たす責任は重要であるが、これまで日本では自治体間の交流をもつ機会が少なく、情報を上手く活用できているとは言い難い状況にある。そのため自治体への提案や情報提供が今後の課題としてあげられている。

そういった中で、(特活)環境市民では2001年から「日本の環境首都コンテスト」を開催し、各自治体の政策に対し、外部からの評価を与えるとともに、自治体自身の内部評価にも寄与している。

さらに、コンテストに参加していない自治体もコンテストの最終報告から多大な影響と刺激を受けており、自治体間の切磋琢磨を促している。

こういった動きの中で、環境市民、自治体、関係諸団体の間で、より実践的な政策提案ができるような「持続可能な発展研究会」の発足が検討されており、研究者および実務家が担うべき役割への期待も大きくなりつつある。